

PL-HD020

取扱説明書

PL-HD020 (HDD ユニット) は(株)デジタル製パネルコンピュータシリーズ PL-5700 シリーズ (以下 PL と称します) 用のハードディスクユニットです。2.5 インチ 2.1G バイトハードディスクを搭載しています。

対応機種：PL-5700 シリーズ

下記のほか、本書に記載の商品名は、各社の商標・登録商標です。

Proface：(株)デジタル

MS-DOS：米国 Microsoft 社



警告 安全に関する使用上の注意

- ・ PL への取り付け時は感電の危険性がありますので、PL に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- ・ PL-HD020 は改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・ PL-HD020 を取り付ける際には、本書の「2. 取り付け」をよく読んで、正しく取り付けてください。

故障しないために

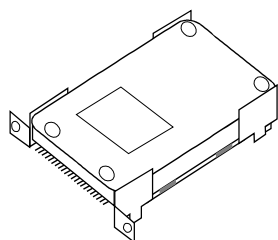
- ・ PL-HD020 は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。特に開梱後は倒したり、ぶついたりしないでください。また、操作盤等に、PL-HD020 を搭載した PL を取り付けた状態での輸送は絶対におやめください。
- ・ PL-HD020 に水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- ・ 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。

- ・ (株)デジタルサービス部以外での修理や改造を行わないでください。
- ・ PL-HD020を組み込んだシステムの通電中の持ち運びは絶対におやめください。
- ・ 不活性ガスの発生する環境では使用しないでください。ハードディスク本体が破損します。

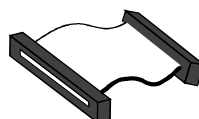
梱包内容

梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

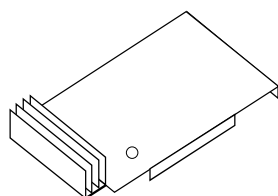
PL-HD020 本体



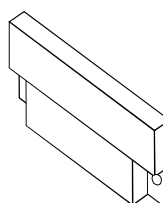
ケーブル 1本



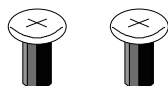
放熱キット 1個



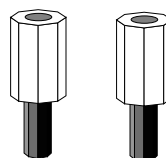
HDDカバー 1個



ネジ 2本

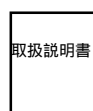


スペーサ 2本



取扱説明書 1枚(本書)

PL-HD020 取扱説明書



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

1

ハードウェア仕様

性能仕様

| | |
|----------|--|
| 総記憶容量 | 2.1Gバイト |
| セクタ容量 | 512バイト |
| 使用ディスク枚数 | 1枚 |
| 物理ヘッド数 | 2本 |
| ユーザシリンダ数 | 9280本 |
| シーク時間 | 13msec(TYP) |
| 消費電力 | 起動時 4.7W(TYP) R/W時 2.0/2.1W(TYP) 待機時 0.3W(TYP) |
| インターフェイス | ATA-4 (E-IDE) |
| 寿命 | 5年間または、20000時間(通電時間)の いずれか早い到達期限まで |



- ・ HDDユニットには、寿命があります。万一のHDDユニットの故障も考え、定期的なデータのバックアップや交換用HDDユニットの用意をお勧めします。
- ・ HDDユニットの寿命は使用条件や環境により前後します。上記値は参考値です。

環境仕様

| | |
|-------------------------|--|
| 使用周囲温度 | PL-5700T1、PL-5701T1:5~45 PL-5700S1、PL-5701S1:5~40 PL-5700L1、PL-5701L1:5~40 |
| 保存周囲温度 | -10~60 |
| 周囲湿度 | 30~85%RH(結露のないこと) |
| 耐ノイズ性 (ノイズシミュレータによる) | ノイズ電圧: 1500Vp-p パルス幅: 50ns、500ns、1μs |
| 静電耐圧 | 5kV |
| 耐振動性 | 動作時 0.5G(10~25Hz) |
| 耐衝撃性 | 非動作時 150G |



- ・ 環境仕様はPLに組み込んだ場合の仕様です。
- ・ 本製品を使用して格納したデータが、ハードディスクの故障や誤動作・その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社はデータの保障を致しかねます。万一に備えて、重要なデータはフロッピーディスク・光磁気ディスクなど適切なメディアにあらかじめバックアップされるようお願いいたします。
- ・ ハードディスクは寿命部品です。性能仕様の寿命データをご配慮の上、保守、メンテナンスを計画的に実施して頂くようお願いいたします。

2 取り付け

放熱キットについて

ご使用になる PL の機種または環境により、放熱キットが必要な場合があります。

| 拡張スロット 使用温度 | 1 スロット タイプ | 3 スロット タイプ |
|----------------|---------------|---------------|
| 40 以下 | 要 | 不要 |
| 40 以上 | | 要 |

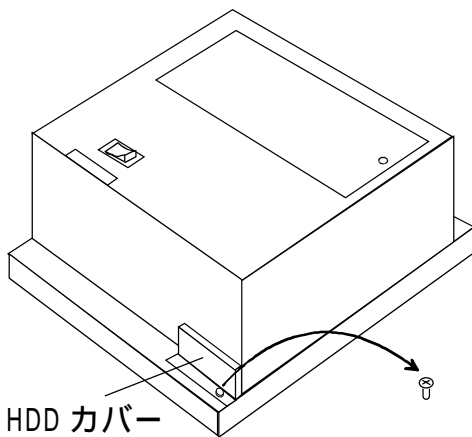


- ・ PL-5700S、PL-5701S、PL-5700L、PL-5701L では、本体側仕様により40 以上の環境では使用できません。

以下の方法で PL-HD020 を PL へ取り付けてください。

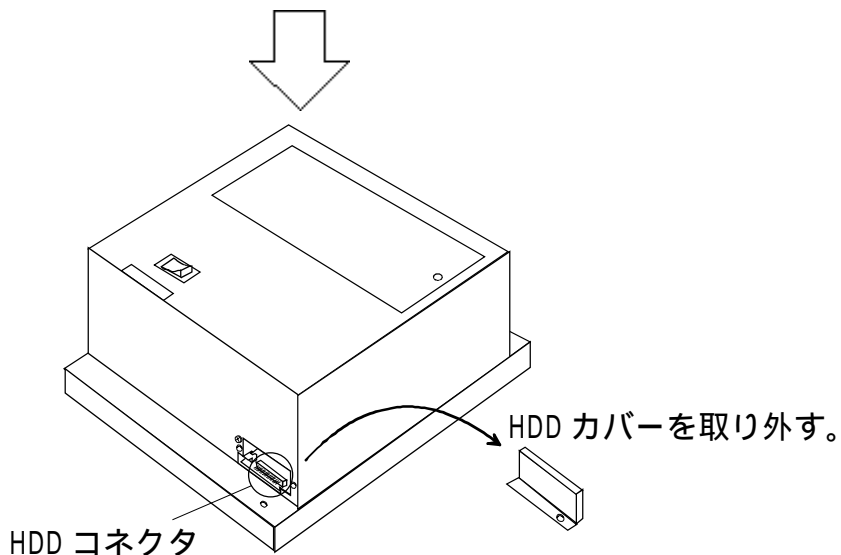
警告

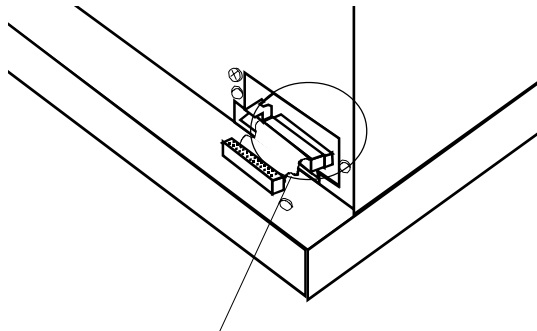
- ・ 感電の恐れがありますので、必ずPLの電源を切ってから作業を行ってください。



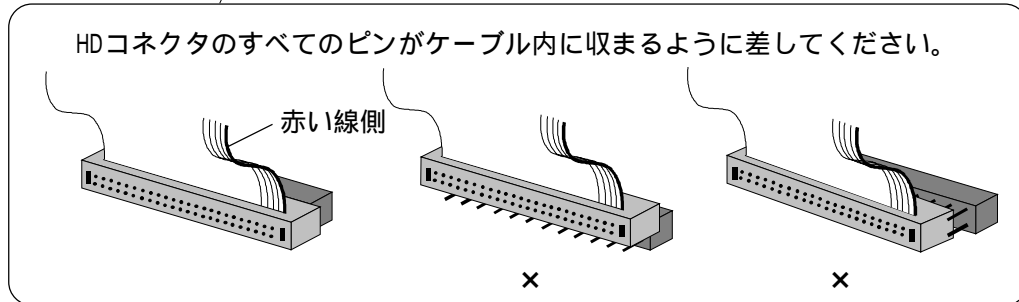
PL 側面のネジ 1 カ所を外し、
HDD カバーを取り外します。

図は PL-5700T1 (3 スロットタイプ) です。

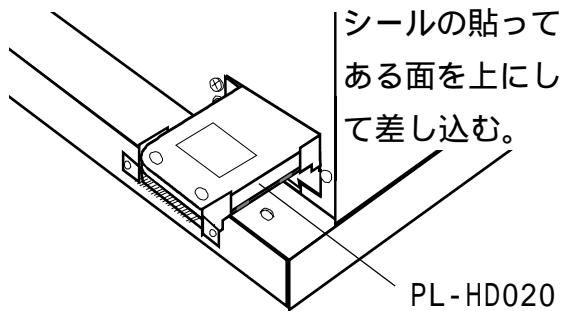




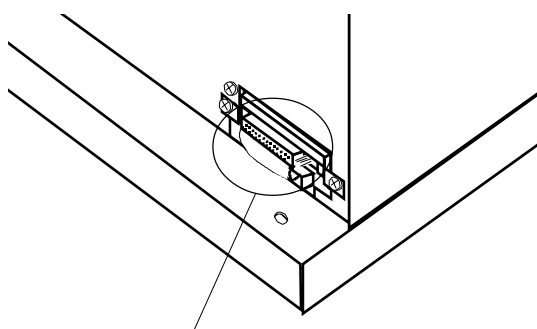
PL-HD020 付属のケーブルを HD コネクタに差し込みます。赤い線を目印に、図のように取り付けてください。



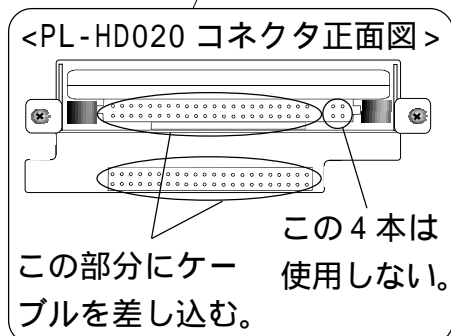
・放熱キットが不要の場合



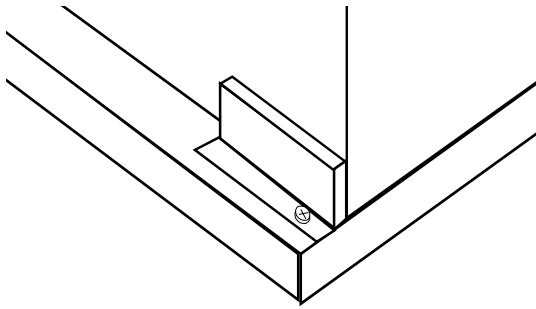
PL-HD020 を取り付け、ネジ 2カ所を止めます。



ケーブルを PL-HD020 のコネクタに差し込みます。ピンの位置に注意して図のように正しく差し込んでください(差し込んだとき、向かって右側のピン 4 本が残る状態になります)。

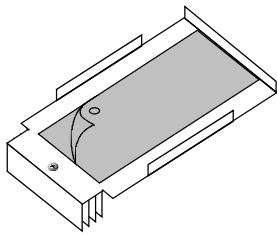


・ 誤った接続で電源を投入すると、機器が破損します。

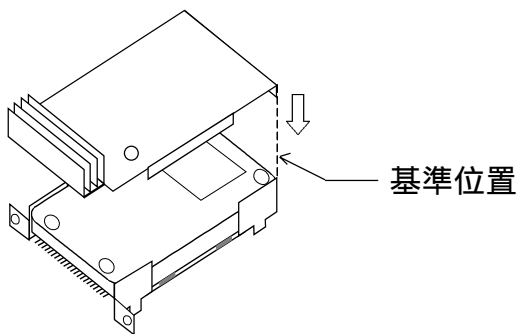


HDD カバーを元に戻し、ネジ止めします。

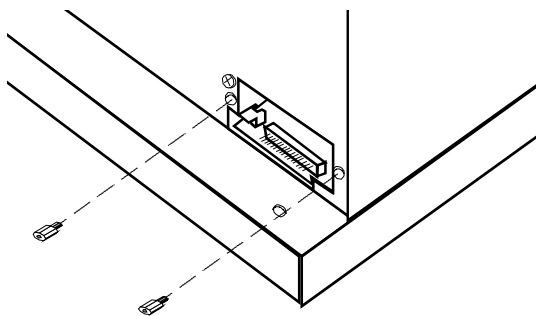
・ **放熱キットが必要な場合**



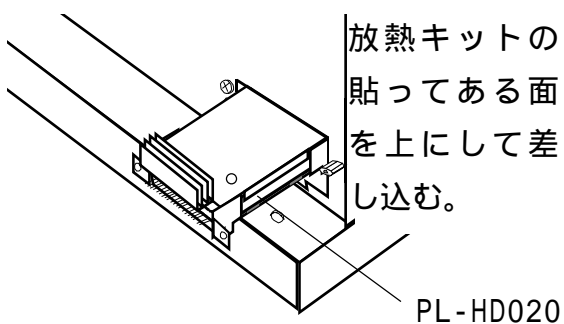
放熱キットに貼られた粘着シートのはく離シートをはがします。



図に示したPL-HD020の基準位置に放熱キットの折り返しを合わせて貼りつけます。



HD 取り付け開口部両側のネジ穴にそれぞれスペーサを締め込みます。

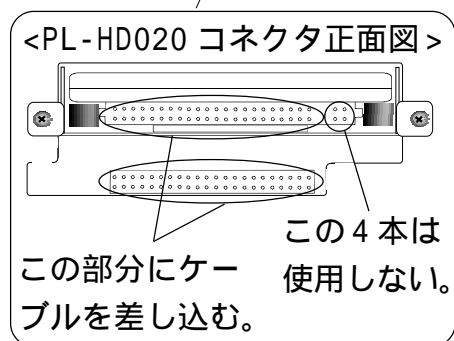
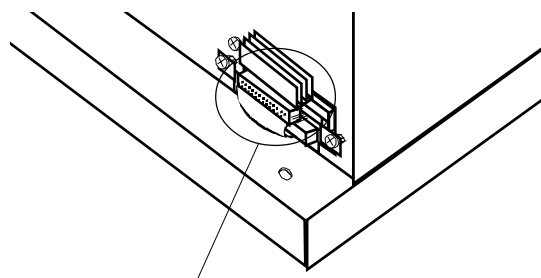


放熱キットの貼ってある面を上にして差し込む。

PL-HD020 を取り付けます。

PL-HD020

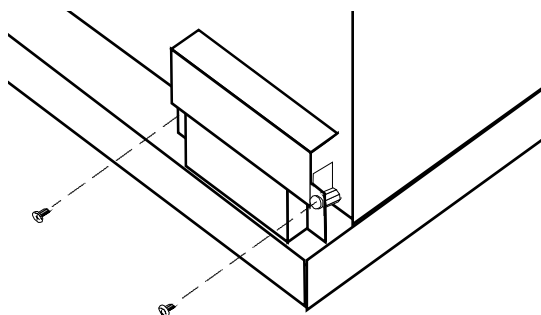
・放熱キットが必要な場合



ケーブルを PL-HD020 のコネクタに差し込みます。ピンの位置に注意して図のように正しく差し込んでください(差し込んだとき、向かって右側のピン4本が残る状態になります)。



- ・ 誤った接続で電源を投入すると、機器が破損します。



HDDカバー2を取り付け、ネジ止めします。

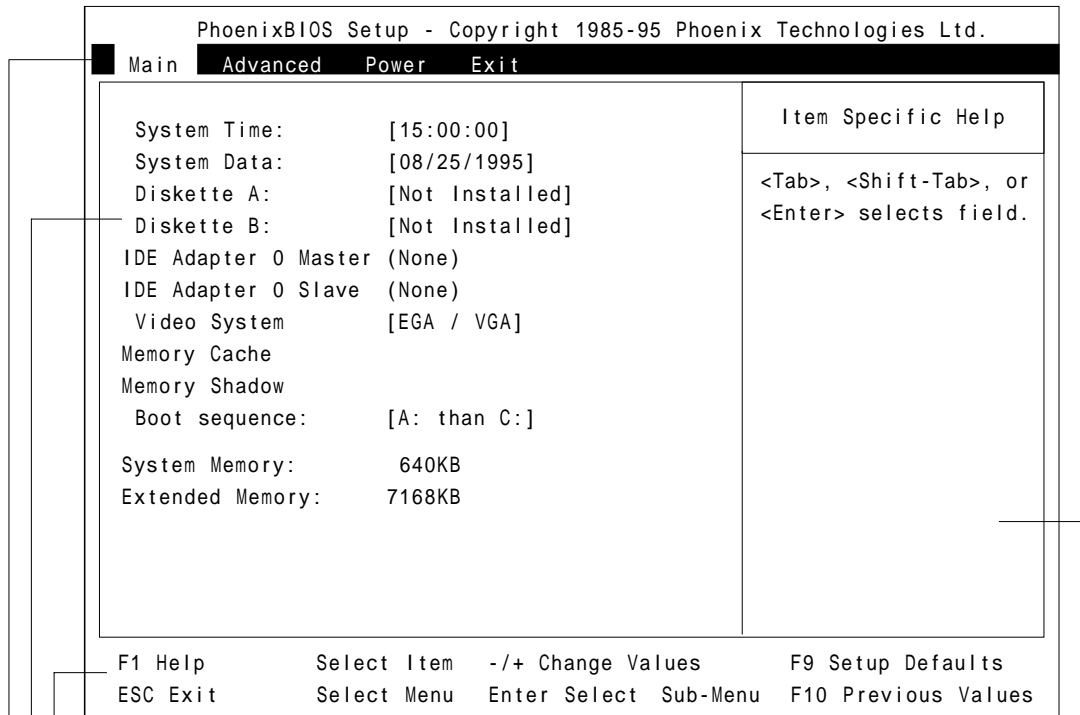
3

ハードウェアセットアップ

PLの電源をONします。

画面左下に“Press <F2> to Enter SETUP”のメッセージが表示されたら、[F2]キーを押し続けます。

セットアップユーティリティが起動し、次のような画面が表示されます。



キー操作一覧

セットアップで使用するキーの一覧です。

ヘルプ表示エリア

カーソルを合わせた項目の詳細が表示されます。

システム設定エリア

各メニューで設定するシステム項目が表示されます。

メニューバー

Main, Advanced, Power, Exit の4つのメニューがあります。



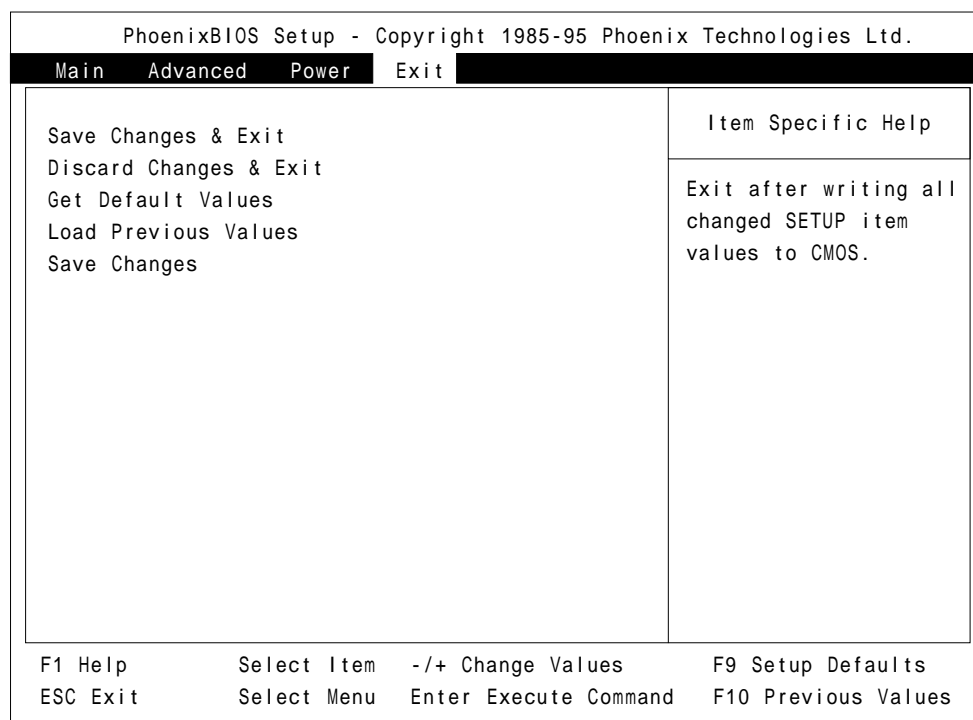
・ セットアップユーティリティでのキー操作を以下に示します。

- [F1] : セットアップユーティリティ全体の説明を表示します。[] [] キーで表示がスクロールされます。
- [] [] : カーソルを移動させ、メニュー項目を選択します。
- [-] [+] : カーソルを合わせた項目の設定内容を変更します。
- [F9] : システム表示エリアの項目を初期設定値にします。
- [ESC] : Exit メニューを表示します。
- [] [] : メニュー画面の切り替えを行います。
- [Enter] : のついた項目にカーソルが合っているときに[Enter]キーを押すと、サブメニューを表示します。サブメニュー画面で[ESC]キーを押すと、メインメニューに戻ります。
- [F10] : システム表示エリアの項目をCMOSに記憶されている設定値にします。

“ IDE Adapter 0 Master ” にカーソルを合わせ[Enter]キーを押すと次頁のような画面が表示されます。

| PhoenixBIOS Setup - Copyright 1985-95 Phoenix Technologies Ltd. | |
|---|--|
| Main | |
| IDE Adapter 0 Slave (None) | Item Specific Help |
| Autotype Fixed Disk: [Press Enter] Type: [None] Cylinders: Heads: Sectors/Track: Write Precomp: | Attempts to automatically detect the drive type for drives that comply with ANSI specifications. |
| F1 Help Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults ESC Exit Select Menu Enter Execute Command F10 Previous Values | |

“Autotype Fixed Disk” にカーソルを合わせ[Enter]キーを押すとハードディスクのタイプが自動的に設定されます。
[ESC]キーを押してExitメニュー画面に入ります。



“Save Changes & Exit” にカーソルを合わせ[Enter]キーを押します。

4 ソフトウェアセットアップ

ハードウェアセットアップの後、実際にハードディスクにデータや、アプリケーションを記録する為には、使用するオペレーティングシステム（MS-DOS[®] や Windows[®] 等）でパーティション（記録区画）の作成とフォーマット（初期化）が必要です。ご使用になるオペレーティングシステムの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

株式会社 デジタル
〒559-0031
大阪市住之江区南港東8-2-52
TEL (06)613-1101 (代)
FAX (06)613-5888